

# 長野県 実施計画の概要立案

2023年度 都道府県指導者養成研修 (緩和ケアチーム研修企画)

# 都道府県内の緩和ケアの現状

## 都道府県内の緩和ケアに関する課題・問題

- 特になんがん診療連携拠点病院等では、緩和ケアチームが地域の医療機関や在宅療養支援診療所等から定期的に連絡・相談を受ける体制を確保し、必要に応じて、アドバンス・ケア・プランニングを含めた意思決定支援をできる体制を整備
- 在宅療養支援診療所は県内に266診療所あり、がん診療連携拠点病院や地域の中核的な病院との連携強化が重要

# 都道府県内の緩和ケアの質向上に向けた 今後の方向性

都道府県単位の取り組みで目指したいこと (ゴール)

- ・ 地域全体におけるシームレスな緩和ケアの連携強化
- ・ 病院から地域に送り出した患者のフォローアップ
- ・ 各地域ごとでの課題の抽出

都道府県単位の取り組みで扱いたい内容と方法

【扱いたい内容】 地域連携の強化

⇒ 【方法】 緩和ケアに携わる全ての医療者を対象とした研修会の開催

# 企画概要

## 企画名

医療者のための長野県緩和ケアアドバンス研修会2023

## 目的

講義やグループワークを通して、緩和ケアに携わる医療者が抱える困りごとについて、具体的な課題解決を検討するとともに、地域全体の緩和ケアの質向上および連携を進めていく

## 目標

地域全体におけるシームレスな緩和ケアの連携強化

## 対象者・人数

対象者：長野県内の緩和ケアに携わる全ての医療者      人数：80人程度

## 開催期間・時間・開催形式

1日間    10:00～16:00    集合形式

## 実施主体

信州大学医学部附属病院    緩和ケアセンター

# プログラム

## 1日目

開始	終了	時間	研修方法	内容
10:10	11:00	50分	講演	長野県健康福祉部担当者より、県内のがん対策推進計画についての説明
11:10	11:55	45分	グループワーク	緩和ケアの地域連携における問題点の抽出（職種別）
12:50	13:35	45分	グループワーク	各地域での緩和ケアの地域連携における問題点の抽出（多職種）
13:40	14:40	60分	グループワーク	各地域での緩和ケアの地域連携における問題点から改善策の検討（多職種）
14:50	15:50	60分	全体発表	各地域での緩和ケアの地域連携における問題点・改善策に関する発表および質疑応答
15:50	16:00	10分	統括	

# 研修の評価

## 【実施評価】

研修会の参加者に対して、研修会の内容、日時、時間配分、受講者数、受講者の属性、講師および資料の適切性などについて、Googleフォームなどを用いて評価する

## 【結果評価】

研修実施施設が研修会の実施前後において、到達目標の達成度を比較する。  
プレアンケート、ポストアンケート、6か月後アンケート(Googleフォーム)

## 【企画評価】

研修実施施設が実施評価・結果評価を踏まえた研修企画全体の適切性を評価する。

# セッション1 講演

日時：3月17日(日) 10:10～11:00

場所：信州大学医学部附属病院外来棟4階 大会議室

セッティング：スクール形式(前半分)

担当：長野県健康福祉部保健・疾病対策課長 宮島有果先生

用意するもの：PC、プロジェクター、マイク、配布資料

## 【学習目標】

県内のがん対策推進計画について理解する

## 【事前準備】

長野県の担当者に対して講演を依頼する

## 【会場準備】

大会議室 スクール形式を設定する

## 【すすめ方】

長野県健康福祉部担当者より説明いただく

## 【セッションでの留意点】

配布資料の準備を依頼する

# セッション2 グループワーク

日時：3月17日(日) 11:10～11:55

場所：信州大学医学部附属病院外来棟4階 大会議室

セッティング：ワーク形式(後ろ半分に設置、約10名のグループ分けとファシリテーター1名ずつ)

担当：田中成明医師

用意するもの：模造紙、付箋、サインペン、ホワイトボード8台、プロジェクター、マイク

## 【学習目標】

職種別に、緩和ケアの地域連携における問題点を抽出して意見交流する

## 【事前準備】

参加者を職種別に割り振る、模造紙、付箋、サインペン、ホワイトボード

## 【会場準備】

大会議室、グループごとにKJ法を用いて模造紙にまとめ、ホワイトボードに貼付する

## 【すすめ方】

各グループにファシリテーターを配置する

## 【セッションでの留意点】

各グループで話し合った内容を全体で共有する

# セッション3 グループワーク

日時：3月17日(日) 12:50～13:35

場所：信州大学医学部附属病院外来棟4階 大会議室

セッティング：ワーク形式(後ろ半分に設置、約10名のグループ分けとファシリテーター1名ずつ)

担当：田中成明医師

用意するもの：模造紙、付箋、サインペン、ホワイトボード8台、プロジェクター、マイク

## 【学習目標】

多職種を交えて、各地域での緩和ケアの地域連携における問題点を抽出する

## 【事前準備】

参加者を同一地域ごとに割り振る、模造紙、付箋、サインペン、ホワイトボード

## 【会場準備】

大会議室、グループごとにKJ法にて模造紙にまとめ、ホワイトボードに貼付する

## 【すすめ方】

各グループにファシリテーターを配置する

## 【セッションでの留意点】

特になし

# セッション4 グループワーク

日時：3月17日(日) 13:40～14:40

場所：信州大学医学部附属病院外来棟4階 大会議室

セッティング：ワーク形式(後ろ半分に設置、約10名のグループ分けとファシリテーター1名ずつ)

担当：山本兼二医師

用意するもの：模造紙、付箋、サインペン、ホワイトボード8台、プロジェクター、マイク

## 【学習目標】

多職種を交えて、抽出した緩和ケアの地域連携における問題点の対策を検討する

## 【事前準備】

参加者を同一地域ごとに割り振る、模造紙、付箋、サインペン、ホワイトボード

## 【会場準備】

自施設の研修室で、グループごとに模造紙にまとめ、ホワイトボードに貼付する

## 【すすめ方】

各グループにファシリテーターを配置する

## 【セッションでの留意点】

特になし

# セッション5 全体発表

日時：3月17日(日) 14:50～15:40

場所：信州大学医学部附属病院外来棟4階 大会議室

セッティング：ワーク形式(後ろ半分に設置、約10名のグループ分けとファシリテーター1名ずつ)

担当：間宮敬子医師

用意するもの：PC、プロジェクター、ホワイトボード8台、マイク 4本

## 【学習目標】

各地域での緩和ケアの地域連携における問題点・改善策に関する発表の後、意見交換を行う

## 【事前準備】

議論した内容が全体で共有できるように、ホワイトボードやプロジェクターを準備する

## 【会場準備】

ホワイトボードやプロジェクターを準備した部屋を設営する

## 【すすめ方】

司会者が発表順を決め、各グループの議論内容をホワイトボードを指し示しながら発表する

## 【セッションでの留意点】

成果物を事後資料として、参加者全員に送付する